検証前レポートの見方について

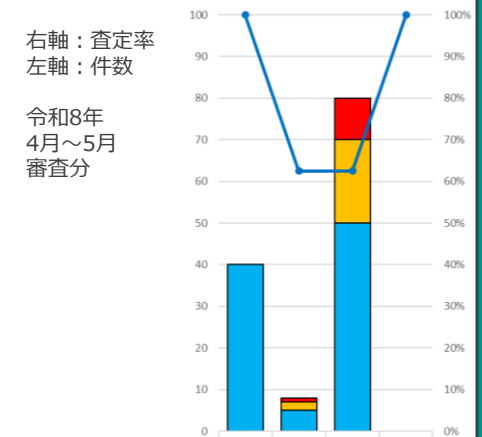
項番	項目
1	歯周病安定期治療

○国保における取扱い（令和2年9月30日HP掲載）
原則として、「Ｐ」病名に対して、スケーリング（再スケーリングを含む。）のみを実施した場合にお
○取扱いの根拠
歯周病安定期治療は、スケーリング・ルートプレーニング後の歯周病検査又は歯周外科手術等を行った
変が残存しているため歯 必要
なる歯周病の治療として

○国保における取扱い
審査における47都道府県国保連合会で共通の取決め内容
○取扱いの根拠
上記取扱いの医学的な根拠
○留意事項
上記取扱いにおける例外的な事例など留意が必要な内容
一部の項目のみに設けられています

○棒グラフについて
当該項目に対応するコンピュータチェックが貼付されたレセプトの総件数とその内訳を示します
- **該当件数**
  下記の３種類の内訳を合計したコンピュータチェック貼付レセプトの総件数
- **赤：請求どおり（職員）**
  審査担当職員が対象項目を査定せず請求どおりとした事例の件数
- **橙：請求どおり（審査委員）**
  審査委員が対象項目を査定せず請求どおりとした事例の件数
- **水色：査定**
  審査担当職員または審査委員が対象項目を査定等適切に処理した件数

○折れ線グラフ（査定率）について
コンピュータチェックが貼付されたレセプトの総件数のうち査定等適切な処理がされた事例の割合（棒グラフ全体に占める水色部分の割合）



	01 A県	02 B県	03 C県	04 D県
該当件数	40	8	80	0
請求どおり（職員）	0	1	10	0
請求どおり（審査委員）	0	2	20	0
査定	40	5	50	0
査定率	100%	63%	63%	100%

○A県
「Ｐ」病名に対してスケーリング・ルートプレーニングのみで、スケーリング（再スケーリングを含む。）の算定なく歯周病安定期治療を算定している事例が40件あり、そのすべてが査定されています

○B県
「Ｐ」病名に対してスケーリング・ルートプレーニングのみで、スケーリング（再スケーリングを含む。）の算定なく歯周病安定期治療を算定している事例が8件あり、職員が請求どおりとした事例が1件、審査委員が請求どおりとした事例が2件、査定された事例が5件あります
全事例（8件）に占める査定率は約63%となります

○C県
「Ｐ」病名に対してスケーリング・ルートプレーニングのみで、スケーリング（再スケーリングを含む。）の算定なく歯周病安定期治療を単独で算定している事例が80件あり、職員が請求どおりとした事例が10件、審査委員が請求どおりとした事例が20件、査定された事例が50件あります
全事例（80件）に占める査定率は約63%となります

○D県
「Ｐ」病名に対してスケーリング・ルートプレーニングのみで、スケーリング（再スケーリングを含む。）の算定なく歯周病安定期治療を算定している事例がない
該当事例がない場合、査定率は便宜上100%と表記しています

※請求どおりとした事例の中には、不合理な差異の原因となる「取扱いと異なる審査」のほか、
然るべき適切な理由の下で請求どおりと処理されたものも含まれます

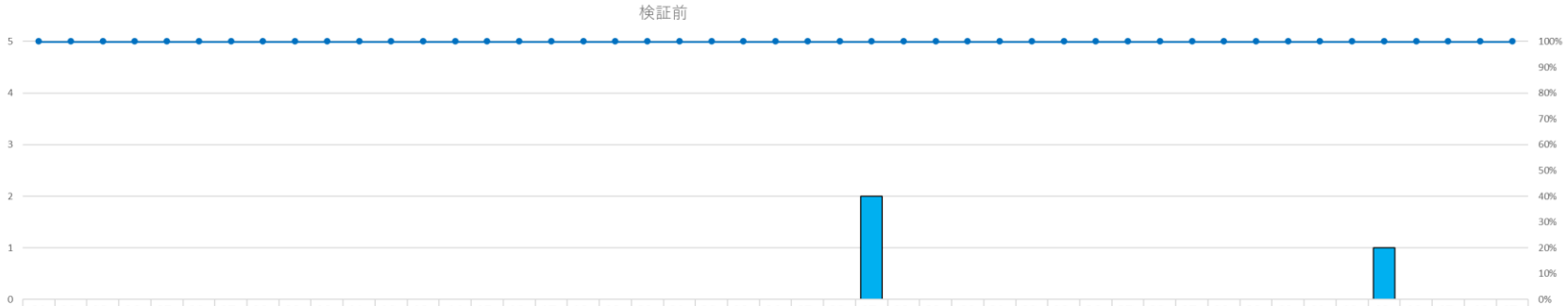
項番１　検証前レポート

項番	項目
1	歯周病安定期治療

○**国保における取扱い（令和2年9月30日HP掲載）**
　原則として、「Ｐ」病名に対して、スケーリング（再スケーリングを含む。）のみを実施した場合における歯周病安定期治療の算定は認めない。
○**取扱いの根拠**
　歯周病安定期治療は、スケーリング・ルートプレーニング後の歯周病検査又は歯周外科手術等を行った後の歯周病検査の結果、一部に深い歯周ポケットや根分岐部病変が残存しているため歯周組織の健康は回復していないが、病変の進行は停止している状態において必要であるとされており、一般的には、歯周病安定期治療の対象となる歯周病の治療としては、スケーリング・ルートプレーニングが必要であると考えられる。

右軸：査定率
左軸：件数

令和8年
4月～5月
審査分



	01 北海道	02 青森	03 岩手	04 宮城	05 秋田	06 山形	07 福島	08 茨城	09 栃木	10 群馬	11 埼玉	12 千葉	13 東京	14 神奈川	15 新潟	16 富山	17 石川	18 福井	19 山梨	20 長野	21 岐阜	22 静岡	23 愛知	24 三重	25 滋賀	26 京都	27 大阪	28 兵庫	29 奈良	30 和歌山	31 鳥取	32 島根	33 岡山	34 広島	35 山口	36 徳島	37 香川	38 愛媛	39 高知	40 福岡	41 佐賀	42 長崎	43 熊本	44 大分	45 宮崎	46 鹿児島	47 沖縄
該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
請求どおり(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請求どおり(審査委員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
査定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
査定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

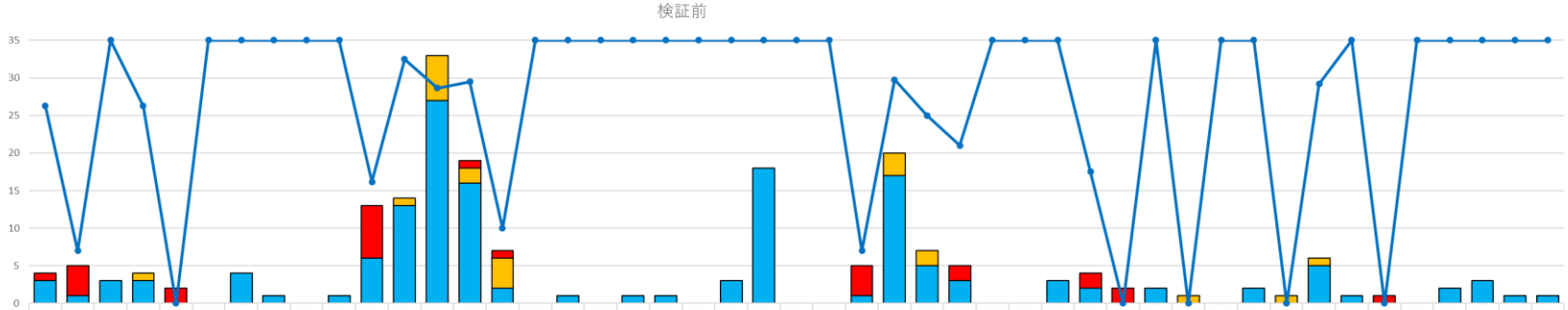
項番２　検証前レポート

項番	項目
2	口腔内装置修理

○**国保における取扱い（令和2年9月8日HP掲載）**
　原則として、口腔内装置に係る「ハセツ」病名がない場合には、「Ｉ０１７－２ 口腔内装置調整・修理 ２ 口腔内装置修理」の算定を認めない。
○**取扱いの根拠**
　口腔内装置修理の算定にあたって、口腔内装置調整が診療報酬上別に評価されていることや傷病名として口腔内装置に係る「ハセツ」病名があること等から、当該病名を記載することが適切である。
○**留意事項**
　傷病名と診療状況の関係等が不明な場合には、必要に応じて医療機関に対して照会を行い個々の症例により判断する必要がある。

右軸：査定率
左軸：件数

令和8年
4月～5月
審査分



	01 北海道	02 青森	03 岩手	04 宮城	05 秋田	06 山形	07 福島	08 茨城	09 栃木	10 群馬	11 埼玉	12 千葉	13 東京	14 神奈川	15 新潟	16 富山	17 石川	18 福井	19 山梨	20 長野	21 岐阜	22 静岡	23 愛知	24 三重	25 滋賀	26 京都	27 大阪	28 兵庫	29 奈良	30 和歌山	31 鳥取	32 島根	33 岡山	34 広島	35 山口	36 徳島	37 香川	38 愛媛	39 高知	40 福岡	41 佐賀	42 長崎	43 熊本	44 大分	45 宮崎	46 鹿児島	47 沖縄
該当件数	4	5	3	4	2	0	4	1	0	1	13	14	33	19	7	0	1	0	1	1	0	3	18	0	0	5	20	7	5	0	0	3	4	2	2	1	0	2	1	6	1	1	0	2	3	1	1
請求どおり(職員)	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
請求どおり(審査委員)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
査定	3	1	3	3	0	0	4	1	0	1	6	13	27	16	2	0	1	0	1	1	0	3	18	0	0	1	17	5	3	0	0	3	2	0	2	0	0	2	0	5	1	0	0	2	3	1	1
査定率	75%	20%	100%	75%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	46%	93%	82%	84%	29%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	20%	85%	71%	60%	100%	100%	100%	50%	0%	100%	0%	100%	100%	0%	83%	100%	0%	100%	100%	100%	100%	100%